MoMAK
京　都　国　立　近　代　美　術　館

［展覧会］

左から、Vetements（デムナ・ヴァザリア） 2017 年秋冬　京都服飾文化研究財団所蔵、畠山崇撮影／ジェフ・クーンズ× LOUIS VUITTON　2017 年　京都服飾文化研究財団所蔵、木村太郎撮影／ COMME des GARÇONS HOMME PLUS（川久保玲） 2009 年秋冬　京都服飾文化研究財団所蔵、畠山崇撮影／ミケランジェロ・ピストレット《ぼろぎれのヴィーナス》1967 年　豊田市美術館蔵 @Michelangelo Pistoletto ／ GUCCI（アレッサンドロ・ミケーレ）2018 年秋冬 京都服飾文化研究財団所蔵、畠山崇撮影

3 階 企画展示室【開催中】

ドレス・コード？――着る人たちのゲーム

インスタグラム・イベント　好評開催中！

皆さんの「ドレス・コード」を大募集！こだわりのコーディネート、特別な日の装いなどをハッシュタグ「＃着るゲー」をつけて投稿してください！

【投稿期間】～ 2019 年 10 月 11 日（金）まで
【発表方法】◇公式 Instagram アカウントおよび美術館 1 階ロビーで発表します
◇ 10 月 12 日（土）午後 2 時からのトークイベントで紹介します

【髙山エリ氏トークイベント】
「楽しくなければ、ファッションじゃない！～現代のドレス・コードを語る～」
登壇者：髙山エリ（スタイリスト）、筒井直子（京都服飾文化研究財団キュレーター）
会場・定員：当館 1 階講堂、先着 70 席（午後 1 時 30 分開場）※出入り自由
参加費：無料（本展の観覧券が必要です）

特別解説会　実施報告

8 月 31 日に主任研究員の牧口が担当し、友の会特別解説会を実施いたしました。今回の展覧会は、服を着るという文脈を楽しむ展覧会でもあり、さまざまな展覧会の読み解き方が紹介されました。また、今回は建築家をいれた普段とは少し趣きのことなる展示デザインで、その工夫などの話も紹介されました。当日は、11 人の方にご参加いただきました。

円山応挙「郭子儀図」天明 8（1788）年、兵庫・大乗寺蔵（重要文化財）

3 階 企画展示室【予告】

円山応挙から近代京都画壇へ

18 世紀の京都において、円山応挙は、実物写生の精神に基づいた写生画というジャンルを切り開きました。精緻に描かれた応挙の写生画は、爆発的な人気を博し、円山派という一流派を形成しました。四条派の祖である呉春は、初め与謝蕪村に学び、蕪村没後は応挙の画風を学んだことで、応挙の写生画に蕪村の瀟洒な情趣を加味した画風を確立しました。応挙、呉春を源泉とする円山・四条派は、塩川文麟、森寛斎、幸野楳嶺等を経て、近代京都画壇を牽引した竹内栖鳳、山元春挙、上村松園等を輩出しました。本展では、応挙、呉春から近代へいたる系譜を追うことで、円山・四条派の全貌に迫るとともに、京都画壇の様相の一端を明らかにするものです。

友の会情報：特別解説会の実施

日　　時	12 月 1 日（日）午後 4 時 45 分～ 6 時 15 分
定　　員	先着 30 名
集合場所	当館 1 階講堂
解 説 者	平井啓修（当館研究員・展覧会担当者）
申込方法	申込先：京都国立近代美術館 総務係 電　話:075-761-4114（月～金曜まで、10 ～12 時 / 13 ～17 時） メール：info@ma7.momak.go.jp （件名は「友の会特別解説会申込み」としてください） ※お申込みの際、お名前・会員番号をお伝えください

！

※閉館後に開催しますので、解説会終了後の自由観覧はできません。

会期：11 月 2 日（土）～ 12 月 15 日（日）※前期・後期で大規模な展示替を行います。

イベントが追加決定しました！（※その他のイベントは同封のチラシをご覧ください）

講演会「京都画壇と千總―岸竹堂を中心に―」
11 月 9 日（土）午後 2 時～ 3 時 30 分
講師：加藤結理子（千總文化研究所所長）
定員：先着 100 名（当日午前 11 時より 1 階受付にて整理券配布）
参加費：無料（要観覧券）

ワークショップ「日本画－実演と体験－」
12 月 1 日（日）①午前 10 時～ 12 時 ②午後 1 時 30 分～ 3 時 30 分
定員：各回 20 名（事前申込制・先着順）
参加費：無料（要観覧券）
※申し込み方法・詳細は、11 月に展覧会 HP にアップ予定です。

Sep. 2019
News_no.69
友の会
発行：京都国立近代美術館　京都市左京区岡崎円勝寺町 26-1
URL：http://www.momak.go.jp/

［展示］

4階 コレクション・ギャラリー

2019 年度 第 4 回コレクション展

1. 甲斐庄楠音《虹のかけ橋（七妍改題）》1915-76 年、2. 沢部清五郎《梳》1909 年、3. 三代 田畑喜八《一越縮緬地鳳凰桐文振袖》1954 年

コレクション・ギャラリーでは企画展「ドレス・コード」展に関連し、「装う」、「着る」、「脱ぐ」といったテーマで、当館所蔵の日本画、洋画、工芸などジャンルを超えてさまざまな作品をご覧いただけます。
企画展とあわせてコレクション展もお楽しみください！

■和装いろいろ（後期展示）
菊池契月や甲斐庄楠音など、京都で活躍した日本画家による、日本の伝統的な装いの美を描いた作品をご覧いただけます。

■装束：日本のドレス・コード
「ドレス・コード」展では、視る／視られる対象としてのファッションに着目。本コーナーではそれに呼応して、日本におけるドレス・コード「装束」をキーワードに当館のコレクションを紹介します。

■装う人／脱ぐ人
日本の近代の美術家たちが「装い」をどのように描いたかを、安井曾太郎や小磯良平、熊谷守一など当館の洋画コレクションによりご覧いただけます。

■日本の装い

■秋の日本画

■河井寛次郎作品選

■ ICOM 開催記念 特別展示 絹谷幸二

会期：開催中～ 10 月 27 日（日）まで

コレクション展 音声ガイドアプリ
「カタログポケット」

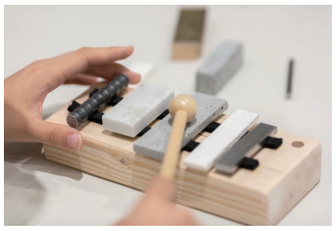
お手持ちのスマートフォンにアプリをダウンロードすると、ご自宅でもコレクション展出品作品の音声ガイドをお楽しみいただけます！

Android　iPhone（iOS）

［イベント］

感覚をひらく―新たな美術鑑賞プログラム創造推進事業

イベントを実施しました



ワークショップの様子（撮影：2019 年 8 月 20 日）

当館では 2017 年度より「みる」ことを中心としてきた美術館での体験の「あたりまえ」を問い直す「感覚をひらく―新たな美術鑑賞プログラム創造推進事業」を行っています。障害の有無を超えて誰もが美術館を訪れ、体験できるようなプログラムを創造・構築することを目指し、イベントの開催やツール（教材）の開発などを進めています。
8 月 20 日と 21 日には、美術館建築を「音」と「手ざわり」で体験する「美術館ってどんな音　つくって鳴らそう建築楽器」を開催。当館の建築に使われている花崗岩や大理石、鉄やアルミなどを触覚や聴覚を使って学んだあと、建材のピースを使ってオリジナルの建築楽器を製作し、最後は参加者全員で奏でました。

☞ ウェブサイトはこちら→ http://www.momak.go.jp/senses/
「感覚をひらく」事業の活動記録や実施報告などをご覧いただけます。

［その他］

お知らせ

国立美術館初の公式ガイドブック　好評発売中！

▲京近美ガイドブックの表紙には、上村松園《舞仕度》を使用！

◀日英バイリンガルでの解説付き

国立美術館が誇る自慢のコレクションから各館 70 点程を厳選し、解説付きでご紹介！
当館からは、上村松園や竹内栖鳳といった関西を代表する日本画家、河井寛次郎や富本憲吉に加えて近年話題の明治の超絶技巧と言われる工芸作品、そのほか当館のコレクションの特色がわかる洋画、写真、現代美術を収録しています。
それぞれの館の代表作品を、わかりやすい解説とともにお楽しみください。

【販売価格】
各 1 冊 1,200 円／ 4 冊セット 4,800 円（いずれも税抜）
（東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立西洋美術館・国立国際美術館の 4 館について、各館 1 冊ずつ分冊になっています。）

【お問い合わせ】
京都国立近代美術館ミュージアムショップ　アールプリュ（TEL：075-771-2629）
※当館では京都国立近代美術館の分冊と 4 巻セットのみ販売しております。

京都国立近代美術館賛助会員
当館は右記、賛助会員の皆様からご支援・ご支持をいただいております。
＜特別会員＞ 木下グループ　FUJIFILM　三井住友銀行
＜一般会員＞ ワコール　KYOCERA　京都中央信用金庫